

令和6年度決算審査を踏まえた政策提言

福知山市議会

令和7年10月20日

福 議 第 6 0 5 号
令和7年10月20日

福知山市長 大橋 一夫 様

福知山市議会議長 吉見 茂久

決算審査委員会委員長 田 渕 裕 二

令和6年度決算審査を踏まえた政策提言について

決算審査委員会では、令和6年度決算審査に関連する市政の重要事項について、令和7年10月8日に自由討議を行った。

その際に各委員から出された意見等について、「令和6年度決算審査を踏まえた政策提言」として取りまとめた。

執行部におかれては、この政策提言について、今後の行政運営や翌年度予算編成の参考とされたい。

令和6年度決算審査を踏まえた政策提言

「開庁時間見直しの検討について」

近年、全国の自治体では、職員の勤務実態を踏まえ、市役所などの公的機関における開庁時間を見直す動きが広がっている。近隣自治体においても、従来の午前8時30分から午後5時15分までとしていた開庁時間を、午前9時から午後4時30分までに短縮する事例が増えている。

この背景として、職員の勤務時間が開庁時間と同一であり、複雑化・高度化した業務に対応するための超過勤務が常態化している実態がある。本決算審査においても、勤務環境の改善、事務処理ミスの防止、人件費増への対応など、多くの課題が浮き彫りとなった。

持続可能な行政運営を実現するためには、利用者対応水準の維持・向上を図りながら、職員の業務効率化および勤務環境の改善を両立させる取り組みが必要であることから、次のとおり提言する。

- ① 開庁前の準備や閉庁後の後片付け等に要する時間を含め、職員の勤務実態および市民利用状況を調査し、その結果を踏まえて、開庁時間のあり方について検討されたい。
- ② 長時間勤務の是正を通じて職員のワークライフバランスに配慮し、職員の意欲向上と人材確保を図るとともに、今後の人件費増加に対応した義務的経費抑制対策を強化されたい。
- ③ デジタル技術を活用し、住民サービス水準の維持・向上を図るとともに、職員が政策立案や専門知識の習得、課内外の連絡・協議に充てる時間を計画的に確保できる体制を検討されたい。